



ACE-M

ACE-M 取扱い説明書

ver.202510



■はじめに

この度は弊社ACE-Mをご購入いただきありがとうございます。

本書は AtoZ 製のキャンピングカーの取扱い方法を説明したものです。

キャンピングカーは居住に関わる部分を多く取り付けています。
取扱いは乗用車とは異なりますのでお出かけ前の日常点検は必ず行ってください。

またボディーサイズも乗用車やワゴン車と異なりひと回り大きいサイズです。
そして重量物などが車体の上部にも設置されていますので運転には十分にお気をつけて下さい。

弊社キャンピングカーを手放す際も本書は次のオーナーのためにも大切に保管して下さい。

なお、装備品に関して本取扱い説明書以外の改造が行われている場合がございます。二次改造に関してのお問合せにはお答え致しかねますのでご了承ください。

本書の取扱い部品、設備に関して内容が一致しない場合もございます。
あらかじめご了承ください。

ベース車の部分に関してのお取扱いは各ベース車メーカー取扱い説明書をご参照ください。

もくじ

■ 安全にご利用になる為に	P.04
日常点検 安全確認	
■ 鍵／工具／ジャッキ／スペアタイヤ	P.07
各種キーの説明 工具／ジャッキ スペアタイヤ	
■ 外装	P.09
各部名称 エントランス 給油方法 クーラント バゲッジドア 外部収納庫 外部電源入力用コンセント メインバッテリー タイヤ	
■ 外装オプション	P.15
サイドオーニング	
■ 窓	P.17
アクリル窓	
■ サブバッテリー	P.19
サブバッテリー 充電方法	
■ 内装	P.20
シート シートベルト テーブル ベッド展開手順 シートアレンジ バンクベッド リヤ二段ベッド キッチン シンク 給水・排水タンク／ポンプ 冷蔵庫	

カセットコンロ
電子レンジ
電源集中スイッチパネル
ヒューズ
照明
コンセント／アクセサリースOCKET／USB ポート
ベンチレーター

■ **内装オプション** P.30

バッテリー残量計
インバーター
バッテリーチャージャー
モニターアーム
ナビサブバッテリー接続／リアモニター配線
FFヒーター
12V 専用クーラー
ポータブル電源取入れ口
トイレ

■ **メンテナンス** P.37

冬季の水道設備のメンテナンス
洗車
コーキング

■ **トラブルシューティング** P.39

走行時のベース車側のトラブル
事故を起こしてしまったら
破損が軽微の場合
破損が大きい場合
照明などの電源が全て消えた
冷蔵庫が動かない
マックスファンが動かない
サブバッテリーが上がった

■ **保障** P.42

■ **会社情報** P.43

■安全にご利用になる前に

◆日常点検

日常点検は道路運送事業法により、運転者に義務付けられています。
付属の車両取扱説明書を見て点検を行い、安全に運行しましょう。

○タイヤの確認

・タイヤについて

タイヤはゴム製品なので、走行中の振動や路面から受ける熱などによって劣化します。
劣化が進むとバースト（破裂）を起こす可能性が出てきますが、特に夏は日照りによってアスファルトの温度が上がるため、タイヤの温度も上昇し、バーストの発生率が高くなります。
このようなバーストを防ぐためには、ご自分の車のタイヤの状態をこまめにチェックする習慣を身につけるようにしてください。

・スリップサインに注意

タイヤの使用限度は、一般的に残り溝（1.6mm以上）やキズ・亀裂の有無から判断することができます。
サイドウォールなどにヒビが入っているのを見つけたら「危険信号」と意識してください。
また「スリップサイン」が出ているかどうかを必ずチェックしてください。
これは、タイヤの限界が来たことを伝えるサインのことで、タイヤの溝底に設けられた1.6mmのゴムの盛り上がり部分のことを指します。
スリップサインは、残り溝1.6mmという法令（道路運送車輛の保安基準第9条）で定められた最低ラインを示す表示ですから、これが見えてきたら、そのタイヤの使用は控えてください。
できれば、これが見える前に新品タイヤと交換しましょう。
また、小形トラック用タイヤは、高速道路を走行する場合は2.4mm以上の残り溝が必要となります。
このようなタイヤを履いている車両は、その使用制限を守ってください。

・常に適正な空気圧を保つ

空気圧が適正でないと、溝やキズ・亀裂の有無とは関係なくバーストを起こす可能性が高まります。
ゴムは空気を通しますので、タイヤの空気圧は1ヶ月の間に約3～5%低下します。
したがって、空気圧の点検は、最低1ヶ月に1度は行なってください。
車両の指定空気圧は、車両のドア付近に表示されています。不明の場合には、ビルダー（架装メーカー）または販売店にご相談ください。
空気圧を調整するときは、指定空気圧を下回ることのないように、10%を上限として、少し高めに調整してください。
タイヤの空気圧は、走行前の冷えている時に、エアゲージにより点検し、ビルダーの指定空気圧に調整してください。

・タイヤの変形

長期間同じ場所で保管しておくるとタイヤが重みで変形し形にクセが付く事があります。
そのまま高速道路など走られると最悪バーストする危険性が高まりますので、乗らなくても定期的に動かし接地部分を変えるようにしてください。

・荷物の積みすぎに注意

タイヤが劣化する度合いは、車を使われる方の運転の仕方や荷物の積み方で異なります。
まずは空気圧を適正に保ち、過積載を行わないなど、日頃の心がけが必要です。
走行中に異常な振動を感じたら直ちに停車し、タイヤをチェックしてください。

・日本タイヤ協会 (JATMA)

少しでも違和感を感じたり劣化の症状が出ていたら適切な対策を施してください。

日本タイヤ協会では、一般乗用車のタイヤの日常チェックポイントとして、ホームページを通じて、次のような呼びかけを行っています。キャンピングカーのタイヤチェックにも必要な指摘がありますので、参考にしてください。

- ・日本タイヤ協会の日常チェックポイント <http://www.jatma.or.jp/tenkencheck/>
- ・タイヤの製造年月日の確認方法 <http://www.jatma.or.jp/tekisei/pdf/tyre.pdf>

○ オイル・クーラント・ウォッシャー液の確認

オイルの汚れ、クーラントやウォッシャー液の残量を確認します。

◆ 出発前点検

○ 車両に装着してある設備の点検（走行時の脱落を防止する）

サイクルキャリア、ラダー、その他設備等が何らかの理由などで緩んだり、外れたりしていないかを確認します。

○ 積載物の確認及び重量バランスの確認（走行安定性を確保する）

トランク等に積んだ積載物の重量が偏ると車両姿勢が不安定になり、安全運転の妨げになります。動かないようバランス良く積みましょう。

○ エントランスドア、バゲッジドア、スカーツの施錠確認（うっかり事故の防止）

各場所にはキーシリンダーが着いています。止め忘れると走行時に開いたり、暴れたりして事故の原因になります。

○ サブバッテリーの電圧の確認（電源周りの確認）

サブバッテリーの電圧がエンジン始動前で11V以下になっている場合はエンジンをかけて事前に充電をしてから使用してください。特に10V以下の場合は後述している方法にて充電を行いましょう。

○ 荷物の積み残しの確認（出発後のトラブルの防止）

車両の周りに積み残しの荷物があると、事故やトラブルの原因になります。また、外部コンセントケーブルなどがつながっていないか確認しましょう。

◆ エンジン始動時

○ メーター上の警告等の確認

車体の不具合がないかどうか確認します。

○ エンジンの異音の確認

エンジンの不具合がないかどうかを確認します。

○ サブバッテリーの電圧の確認

エンジン始動時に電圧が上がっているかどうかを確認します。

○ 燃料の残量確認

十分な燃料が入っているかどうかを確認します。

◆安全の確認

○車体のサイズと見切りについて

走行時、車両の上部、左右、後部をよく見ながら運転をしましょう。

特に高さ制限のある場所、見通しのわるい交差点、細い道路などでの軒先や標識の出っ張り、立ち木の枝などで車両を損傷する場合があります。

良かれと思って道を譲ったときに、路肩の枝で車を壊すこともあります。

○車体の下へのもぐりこみの注意

小さいお子様のいるご家庭では、車両の床下へのもぐりこみに注意しましょう。

何らかの理由で車両の下へもぐりこむことで重大な事故になる可能性があります。

○砂地やぬかるみでの走行について

車両重量が重いので深みにはまる可能性があります。

車重で脱出が難しくなる場合がありますので、そのような場所ではできるだけ避けるようにしてください。

○積雪路や凍結路での走行について

ゆとりある運転を心がけて、急ハンドル、急ブレーキ、急加速などは行わないようにしましょう。

特に凍結路の急な下りなどでは、タイヤがスリップして自重ですべり落下する可能性があります。

事前に道を確認して十分スピードを落として走行してください。

ABS、ASRなどを過信しないようご注意ください。

また、スタッドレスタイヤだけでなくチェーンも携帯して、万が一の場合に備えましょう。

エンジンブレーキ、排気ブレーキ、フットブレーキを状況に応じて使い分けて安全に運転をしましょう。

○強風時の走行について

キャンピングカーは車高が高いため、横風などにあおられる場合があります。

道路などに設置している吹流しや煙突の煙、立ち木の揺れ方など、自然の動きをよく見ながら安全運転を心がけましょう。

トンネルの出口や暴風壁の切れ目などで風によりハンドルを取られる場合がありますので、十分注意して走行してください。

もし車体がバランスを崩したときは、フットブレーキをかけずに、エンジンブレーキや惰性で徐々に減速していきましょう。

無理に強くブレーキをかけると横転する場合があります。

○停車、駐車時の確認ごと

車両を停車、駐車する場合は必ずギアをP（パーキング）にしてパーキングブレーキをしっかりとかけてください。

また、斜面に停車、駐車する場合は車輪に輪留めをかけるようにしましょう。

パーキングブレーキが十分にかかっていないと車両が動いて大きな事故になる場合があります。

○お車から離れる時

停車、駐車などで車から離れる時は必ず施錠をしましょう。

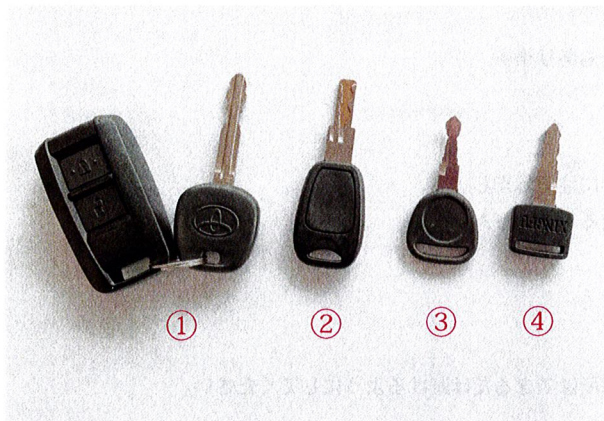
キャンピングカーは生活道具や高価な部品がたくさんついており、車体だけではなく、物品類の盗難の可能性もあります。

また、普通車と異なり、車体が大きく狭い場所では威圧感があるため、周りの人に迷惑がかからない駐車を心がけるようにしましょう。

■ 鍵／工具／ジャッキ／スペアタイヤ

◆ 各種キーの説明

ACE-Mで使う鍵は以下の4種類です。

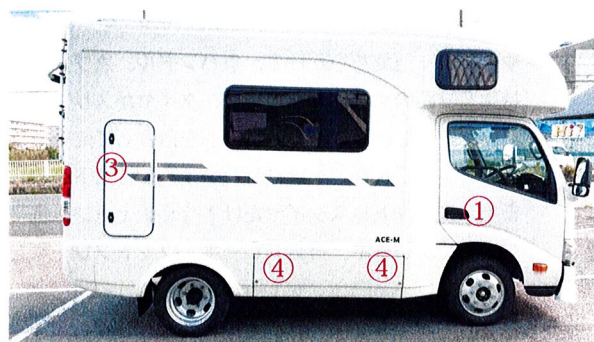


①メインキー

②エントランス用キー

③バゲッジドア用キー

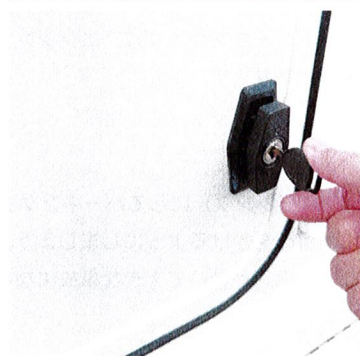
④スカート用キー



②エントランス用キー



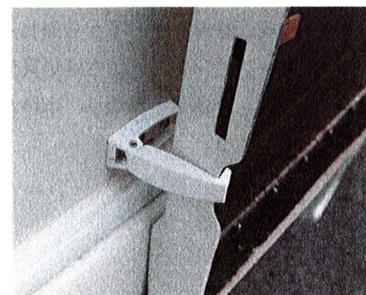
③バゲッジドア用キー



④スカート用キー



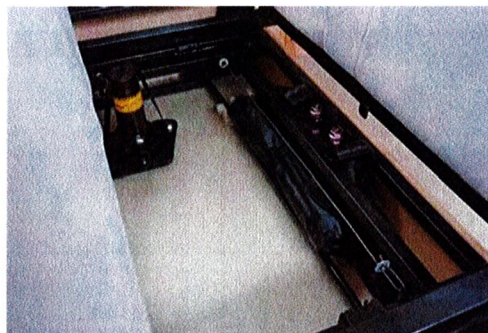
キーを回すとロックプレートが回ります。



スカートのハッチを開けた場合はドアキャッチで抑える事も可能です。

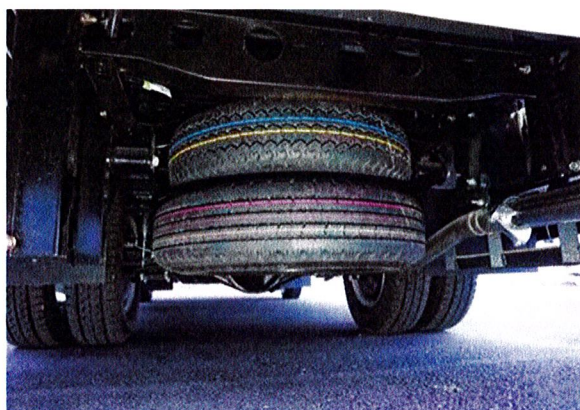
◆ 工具/ジャッキ

タイヤ交換等に使う工具が備え付けられています。
取り扱いについてはベース車の取扱説明書をご確認ください。



ジャッキ、工具袋、長いフック状の棒はサイドシートの下に設置。

◆ スペアタイヤ

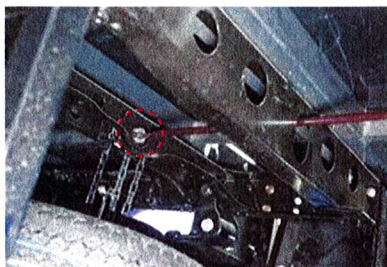


車両後方下部にスペアタイヤが搭載されています。
フロント、リア各一本。
取り扱いについてはベース車の取扱説明書をご確認ください。

○ スペアタイヤ交換方法



① 車両後方にあるスペアタイヤ交換用ホルルのキャップを外し、工具を差し込みます。



② 奥に先端がはまるパーツがあるのでそこにはめた後、反時計回りに回すとスペアタイヤが下りていきます。



③ チェーンがたるむまで下ろすと内側で引っかかっているフックを外すことができます。

■ 外装^②

◆ 各部名称



① サイドオーニング

② アクリル窓

③ エントランスドア

④ バゲッジドア

⑤ メインバッテリーハッチ

⑥ 12Vクーラー室外機ハッチ

⑦ ウォールレッグブラケット



⑧ 給油タンクハッチ

⑨ ハイマウントストップランプ

⑩ バックアイカメラ

⑪ リアコンビネーションランプ

⑫ 外部電源入力用コンセント

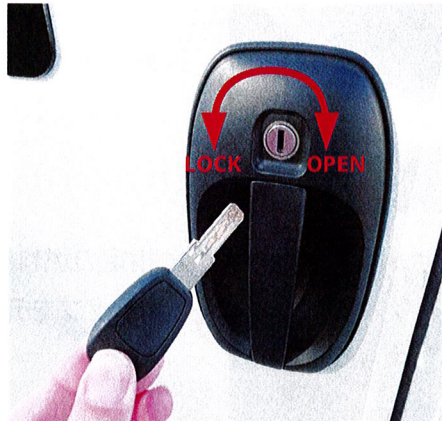


⑬ スペアタイヤ交換用ホール

◆ エントランス

○ 外側施錠方法

エントランスドアロックはキーレスエントリーシステムを内蔵しておりリモコンで施錠解錠可能です。



エントランスは専用のキーとメインキーの
リモコンキーでも開閉できます。

○ 内側施錠方法

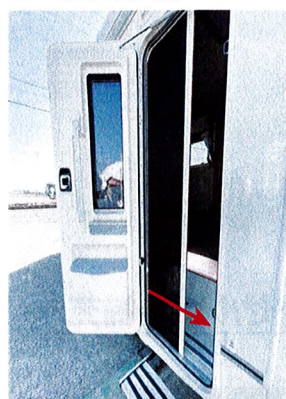


エントランスドア開閉レバー
※内側からの施錠はリモコンキー
で行えます。

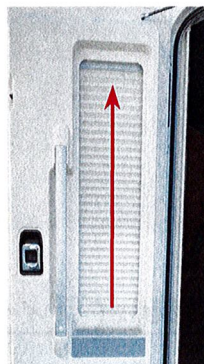
○ エントランスドアについて

網戸付き

(開けた状態で仕様可能)



シェード付き



下に収納されているシェード
を上へ引き上げます。



注意!

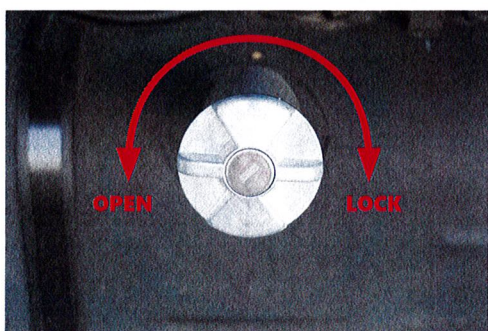
網戸を使用時にエントランスドアを閉めると網戸を破損して
しまいますので必ず完全に開けてからドアを閉めてください。

◆ 給油方法

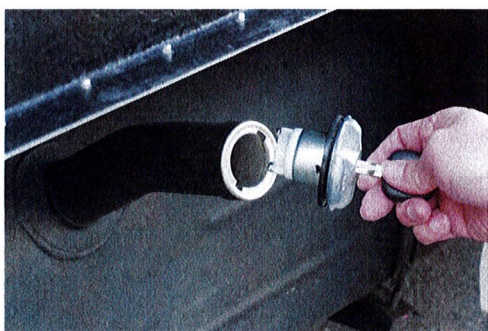


① 給油タンク部分のスクートの開ける

② 給油キャップにメインキーを差し込み
左に回してキャップを外す



③ 指定の燃料を入れたら逆の手順で
キャップを元に戻す。

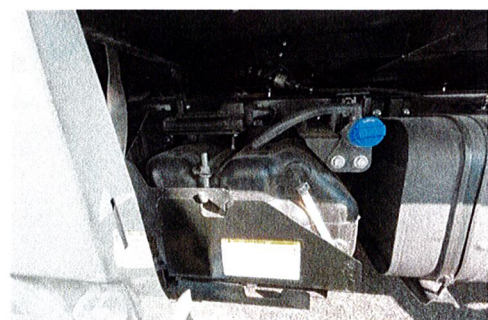


注意！

ガソリン車は「ガソリン」、ディーゼル車は「軽油」を入れて下さい。
間違えるとエンジンの故障に繋がります。

給油後はキャップや扉の締め忘れにご注意下さい。

◆ AdBlue(ディーゼル車) 補充



アドブルーの残量警告灯が点滅したらタイミングをみて足してください。

アドブルーの警告灯が点滅した以降でも1000kmから1200km程は走行することが可能です。

◆ バゲッジドア



外から荷物の出し入れができます。

ポイント

鍵が固く回しにくい時は扉を手で押しながら回してみてください。

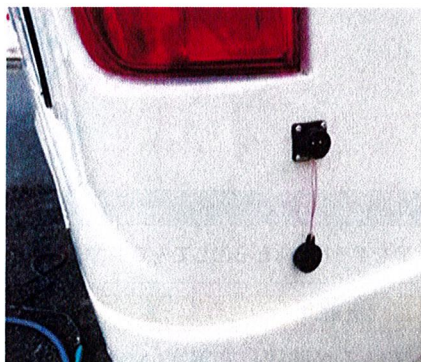
注意！

走行前に鍵の閉まっているか確認して下さい。

外に開くアクリル窓と干渉する可能性があります。

◆外部電源入力用コンセント

このキャンピングカーは100V外部電源を接続する事で室内に設置してある100Vコンセントが使用可能となります。



外部電源コンセント



外部電源ケーブル



ケーブル先端に矢印が書かれている方を上にして接続して下さい。

外す時は左に回して引き抜いて下さい。

注意！

キャンプ等の駐車中に電気を使う場合は必ず外部電源ケーブルを接続して下さい。

外部電源コードを使用せず、走行中に100V製品を使用する場合はインバーター（オプション）が必要となります。

◆メインバッテリー



エントランス脇のハッチを開けるとメインバッテリーが搭載されています。

◆タイヤ



前：175/75R15



ガソリン車 後：145/80R13



ディーゼル車 後：175/75R15

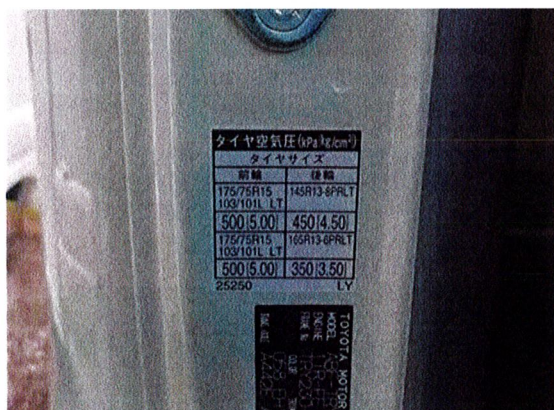
○タイヤの点検について

タイヤはゴム製品なので熱や圧力によって日々劣化していきます。

劣化が進むとバーストする危険性が高まります。

定期的な点検を必ず行って下さい。

点検についての詳細はP.04の『タイヤの確認』を参照してください。



運転席のドアのボディ側に空気圧の指定が貼られています。実際のシールの値を確認し、一か月に一回は点検を行って下さい。キャンピングカーは重量物を載せているので指定範囲内で少し高めに入れて下さい。

注意！

走行中異常な振動を感じたら直ちに停車し、タイヤをチェックして下さい。

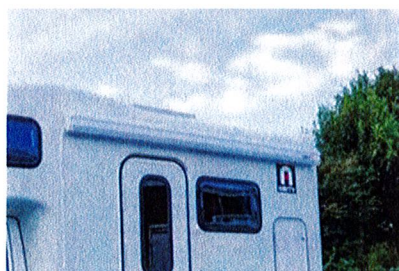
少しでも違和感を感じたり劣化の症状が出ていたら適切な対策を施して下さい。

■ 外装オプション

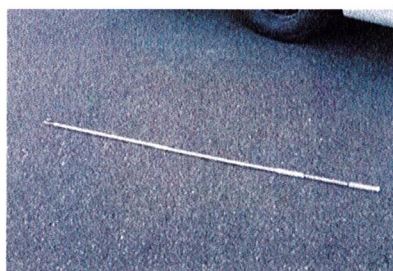
◆ サイドオーニング

オーニングとは車体の横に付いている日差しや雨を避ける為の巻き取り式のタープです。

○ 展開方法



① サイドオーニング



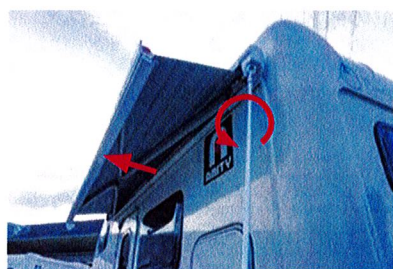
② 車内に設置されているオーニング用のボールを用意します。



③ 右端のリングにボール先端のフックを引っかけます。



④ 持ち手をクランク状に折り曲げます。



⑤ ボールを反時計回りに回転させタープを引き出します。



⑥ 庇に手が届くくらいまで降りてきたら収納されている脚を引き出します。



⑦ 90°開いて脚を立てます。



⑧ つまみを緩め脚の長さを調整します。



⑨ 丁度良い位置と高さに調整して下さい。

○ ボディ側に固定する場合



ボディの横に付いているスリットに脚を固脚先の金具が外れないよう必ずロックして定する方法もあります。

下さい。

■ 窓

◆ アクリル窓



強度と断熱性に優れたアクリル二重窓を採用

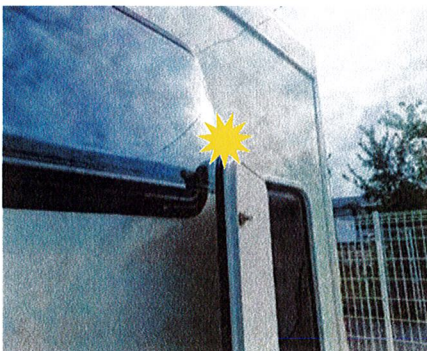
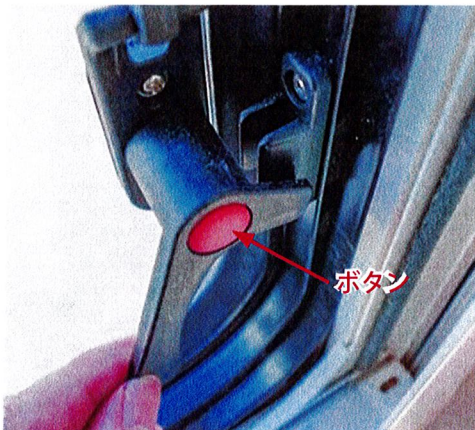
○ 窓の開閉方法



窓を空けるにはまず全てのレバーを回して開錠します。
赤いボタンを押して（ボタンがない製品もあります）レバーを回して下さい。

窓を空けるとアームから「カチッ」と音が鳴り、ある角度で固定できます。
製品によって1～数段階で固定ができます。

閉じる場合は一度奥まで開いて下さい。
アームのストッパーが解除され閉じる事が可能です。



注意！

窓を開閉する時は必ず全てのロックレバーの解除を確認し行ってください。
どこか一か所でもロックされた状態で動かすと破損します。

開けた状態から無理に閉めないで下さい。

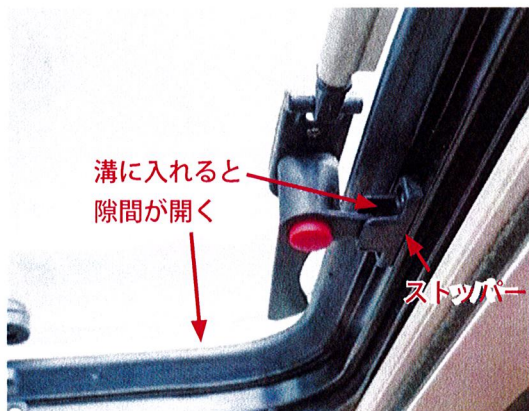
限界以上には開けないで下さい。アームが破損する可能性があります。

窓を開けた状態でバゲッジドアを開くと接触する場合があります。

警告！

走行中に窓を開けていると風圧で開く可能性があります。
大変危険ですので絶対になさらないで下さい。

○ 完全ロックと換気ロック



ストッパーには《コの字》状に板が付いており、手前にL字のレバー先を引っかけると完全に閉じた《完全ロック》状態になります。溝にレバー先を入れ込むと隙間を空けた状態で固定できる《換気ロック》状態にできます。走行時や少し外気を入れたい場合に有効です。

○ 網戸、シェードについて

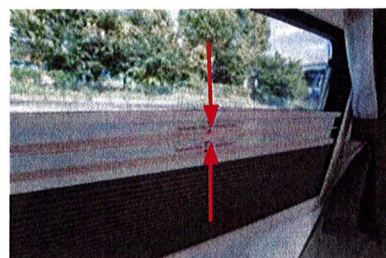
コンビロールタイプの網戸とシェードが内蔵されています。



窓枠の上部に網戸が格納されています。



窓枠の下部にシェードが格納されています。



それぞれを連結させると自由な位置で固定できます。

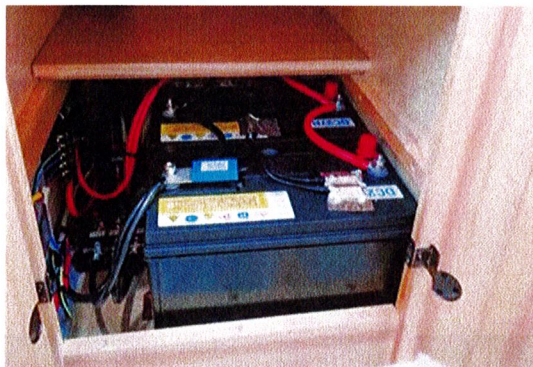
■ サブバッテリー

◆ サブバッテリー

サブバッテリーとは、車内にある電化製品を使うためのバッテリーを指します。

12V、105A の鉛ディープサイクルバッテリーを一基搭載しています。

使用する機器の消費電力を考え、バッテリーマネジメントをうまく行いながらご使用ください。
ある程度、下の計算式から求める事ができます。



下駄箱の中に搭載されています。

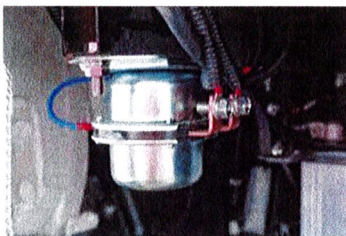
《サブバッテリー 使用可能時間 目安》

家電製品	消費電力 (W)	計算式	使用可能時間
ノートパソコン	100W	$12V \times 100A \times 80\% \div 100W$	10.1 時間
液晶テレビ	150W	$12V \times 105A \times 80\% \div 150W$	6.7 時間
電子レンジ	1000W	$12V \times 105A \times 80\% \div 1000W$	1.0 時間
電気カーペット	800W	$12V \times 105A \times 80\% \div 800W$	1.2 時間
電気ポット	950W	$12V \times 105A \times 80\% \div 950W$	1.1 時間

◆ 充電方法

① 走行充電

基本的には走行中に車のオルタネーターで発電された電気で充電されます。
目安として 10 時間走行で満充電となります。



② 外部充電

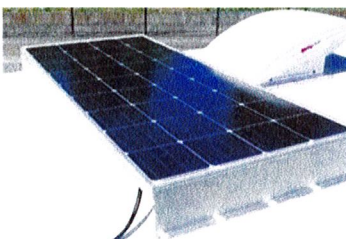
オプションのバッテリーチャージャーを搭載すると外部の100V 電源から充電を行えます。

目安として 30A の充電器で 80% の充電まで 6 ~ 7 時間程度かかります。
その後はゆっくりとしたフロート充電に切り替わります。



③ 太陽光充電

オプションのソーラーパネルを搭載すると日中晴れた日は常に充電されます。



■ 内装

◆ シート



◀ リビングモード

セカンドシートとサードシートの対面タイプです。
セカンドシートは二点式シートベルト、サードシートは二点式と三点式のシートベルトとなります。



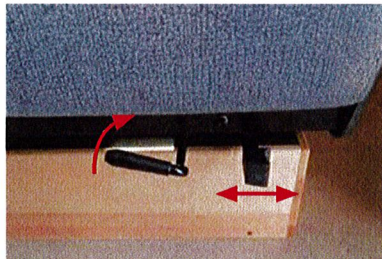
ベッドモード▶

フロアベッド部：長さ 1900 mm×幅 1230 mm
サイドシート部：長さ 1570 mm×幅 530 mm
大人 2 人、子供 1 人が寝る事ができます。

○ レバーの説明



シート横のレバーを押すとシートの角度調整ができます。



左レバーをねじるとシートの前後の調整ができます。
右レバーを左右に倒すとシート左右の位置調整ができます。



ヘッドレスト引き抜くときは横のボタンを押しながら抜きます。

◆ シートベルト



セカンドシートは二点式シートベルト、サードシートは三点式のシートベルトとなります。

注意！

セカンドシートは前向きにも座れますが、人を乗せて走行する場合は後ろ向き乗車となります。

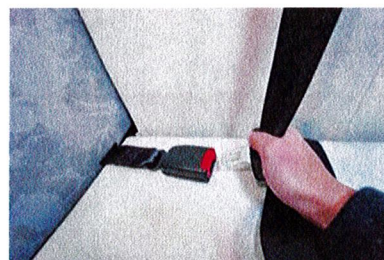
○ 3点式シートベルトの取り付け方



① 三点式シートベルト



② 肩用のバックルにタングプレートを差し込む



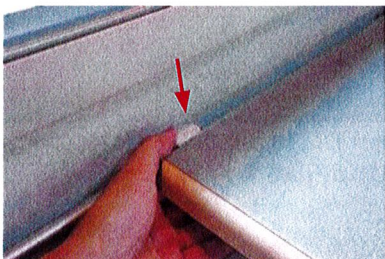
③ 腰用のバックルにタングプレートを差し込む



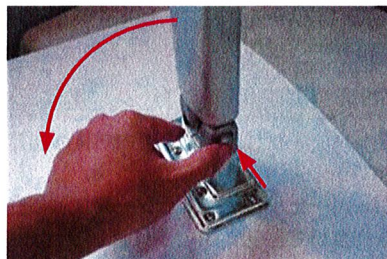
④ 完成

◆ テーブル

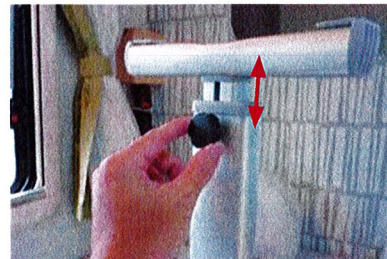
○ テーブルの取り外し方



① 左右のフックのロックを解除するとテーブルがレールから外れます。上からボタンを押すと解除。下からボタンを押し上げるとロック。



② 脚の付け根のボタンを押すと回転ロックが外れ90度折りたためます。



※テーブルの高さが水平でない場合は足元のつまみを緩めて調整して下さい。

注意!

危険ですのでテーブルの上には絶対に乗らないで下さい。

◆ベッド展開方法

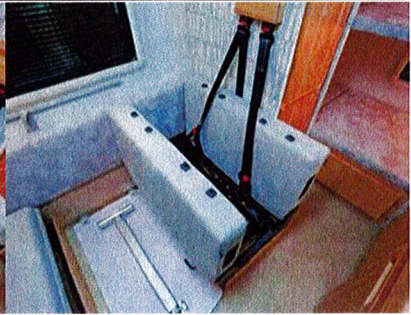
○ベッド展開手順



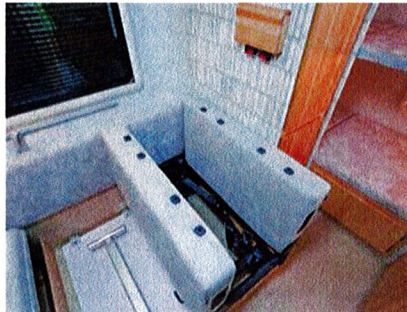
① ダイネット



② テーブルを外す



③ サードシートの座面を上げる



④ シートベルトを下に落とす



⑤ 横にスライド



⑥ フラットにして壁にくっつける



⑦ シートベルトを下に落とし座面をフラットにする



⑧ 壁際の補助マットを退避させておく



⑨ サードシートに合うようにスライドさせる



⑩ フラットにする



⑪ 補助マットを隙間に入れて完成

◆シートアレンジ

アンソニーでは様々なシートアレンジが可能となっております。



リクライニング1



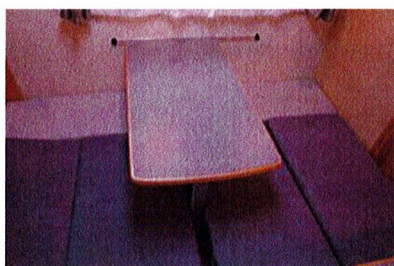
リクライニング2



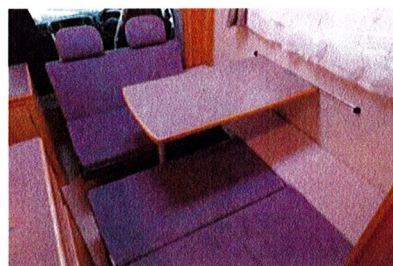
前向きセカンドシート



補助マット展開



フラット座面+テーブル



フラット座面+椅子+テーブル

注意!

走行中は必ず対面に向くようにご乗車下さい。セカンドシートは前向き乗車には対応しておりません。

警告!!

シートをフラットにした状態での乗車は大変危険ですのでお止め下さい。

◆ バンクベッド

大容量の収納、就寝スペースとして活用できます。



◆ リヤ二段ベッド

車両後方にある常設二段ベッド。
上下段合わせて大人二人が寝る事が可能です。



下段マットの下の空間は収納庫となっています。



ベッドマットは取り外し可能になっており、全て取り外すと大容量の収納庫として使う事ができます。
また、外部バゲッジドアが付いており外からアクセスする事も可能です。

注意！

上段ベッドの耐荷重は 80kg 下段ベッドの耐荷重は 100kg までとなっています。
一部分にだけ負荷がかかると支えが破損しマットが落下する可能性があります。

◆ キッチン



◆ シンク



使用する場合は集中スイッチの「水道(ポンプ)」をONにして下さい。
レバーを上げると水が出るようになります。

◆ 給水・排水タンク／ポンプ



給水、排水タンクをキッチン下部に搭載。
排水ホース、電動ポンプをそれぞれのタンクに入れてご使用下さい。

注意！

走行中動かないようタンクをゴムバンドで必ず固定して下さい。

給水タンクが空の状態でもポンプを作動させ続けしないで下さい。
故障の原因となります。

冬季はタンクを空にし、給水栓内の水を抜いて下さい。
凍結による故障の原因となります。

詳しい方法は後述の「メンテナンス」の項を参照して下さい。

◆ 冷蔵庫



12V で稼働する1WAYの冷蔵庫。
庫内上部には簡易冷凍庫付き。
使用する場合は集中スイッチパネルの「冷蔵庫」を
ON にして下さい。



ポイント

走行中にダイヤルを最大にしておき駐車時に弱にしておく
とサブバッテリーの使用を抑えながら冷蔵庫内の温度
を下げることができます。

ダイヤルが弱でも冷凍庫に保冷剤を入れておくと冷蔵庫
内の温度を保つことができます。

注意！

ダイヤルメモリが最大の状態（コンプレッサー連続運転）での使用はサブバ
ッテリーの上がりの原因となります。

◆ 電子レンジ



100V で作動します。使用する場合は外部電源を繋いで
下さい。
バッテリーで稼働させるにはインバーターの電源を ON に
して下さい。

注意！

走行中は使用しないで下さい。

インバーターでの使用は大電力を消費しますのでバッテリー上
がりに気を付けて下さい。

◆ カセットコンロ



電子レンジを装備していない車両にはカセットコンロが
付属します。
市販のガスボンベを使用して下さい。

注意！

使用しない場合はボンベを取り外して下さい。

走行中の使用はご遠慮下さい。

ご使用時は必ず換気をして下さい。

◆電源集中スイッチパネル

シールに書かれている設備の電源スイッチパネル。
主に 12V 機器の電源を ON,OFF します。



注意!

電装品を使用しない時はスイッチを OFF にして下さい。
サブバッテリーが上がる原因になります。

◆ヒューズ

シールが貼られている部分のカバーを外すとスイッチごとのヒューズが確認できます。



ヒューズ切れた場合、スイッチを ON にすると
LED が赤く光ります。
その場合はヒューズを交換して下さい。

各ヒューズです。
交換する場合は書かれている数字 (アンペア数)
と同じ物を選んで下さい。

※電装品本体にもヒューズが付いている場合もあ
ります。



集中スイッチパネル自体のヒューズボックスです。
メイン1、メイン2が左右のスイッチパネルに対応しています。

◆照明

電源集中スイッチに書かれている照明を ON にして下さい。
照明本体にもスイッチが付いている場合があります。
リアベッドやバンクベッドでは個別に ON,OFF できます。



室内灯 1



エントランス

◆コンセント／アクセサリースOCKET／USB ポート

様々な機器の電源を取る事ができます。



AC100V コンセント

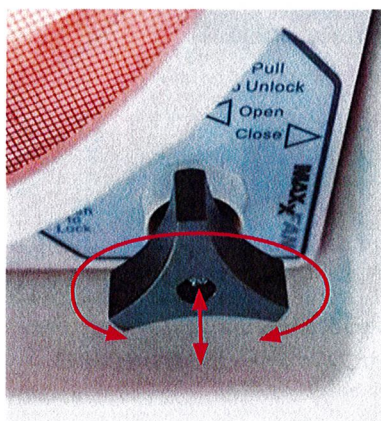
- ・外部電源を繋げるとコンセントが使えるようになります。
- ・インバーターの電源を ON にするとサブバッテリーから電力を供給できるようになります。

DC12V アクセサリーソケット／USB ポート

- ・使用する場合は集中スイッチ「電源 1」を ON にして下さい。
 - ・DC12V と DC5Vの機器を使用できます。
- 合わせて 10A 以内でお使い下さい。

◆ ベンチレーター「マックスファン」

使用する時は集中スイッチの「ルーフベント」を ON にしてご使用下さい。

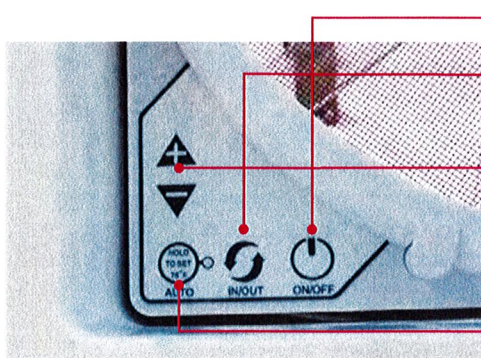


外蓋開閉ダイヤル：

- ・ダイヤルを上げるとロック
- ・ダイヤルを下げると解除
- ・時計回りで蓋を閉じる
- ・反時計回りで蓋を開く

注意！

ダイヤルがロック状態で無理に回さないで下さい。破損の原因になります。



「ON/OFF」ボタン：ファンを作動・停止させます。

「IN/OUT」ボタン：
IN（吸気） / OUT（排気）モードの選択ができます。

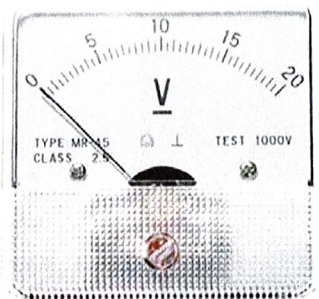
「+」「-」ボタン：風力の調整ができます。

「AUTO」ボタン：
一度押すことで 78° F(25.6° C) にセットされます。
温度を下げたい時には -（マイナス）のボタンを押すことでファンの回転数が増し設定温度までファンが回転し続けます。
その後、設定温度になったら停止します。
温度を上げたい場合は +（プラス）のボタンで同様に設定できます。

■ 内装オプション

◆ バッテリー残量計

外部充電ケーブルを接続していない状態で車内の電化製品をご利用の際は、必ず事前にバッテリー残量計を確認しましょう。バッテリー残量計を確認することで、室内の電気を使うためのサブバッテリーが突然使えなくなることを避けることができます。



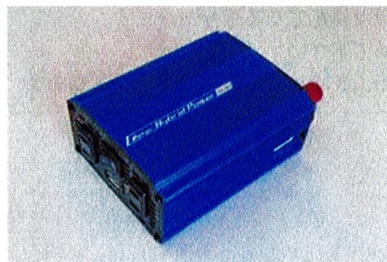
《バッテリー残量計 チェック基準》

12.6V ~ 12.8V	充電は満タンです。
11.5V ~ 12.5V	安心してご利用いただけます。
10.5V ~ 11.5V	ご使用を控えて充電しましょう。
~ 10.5V	即時使用をやめて充電しましょう。

注意！

サブバッテリーを上げてしまうと充電できなくなる可能性があります。
その場合は P32 の「トラブルシューティング」の項をご確認ください。

◆ インバーター



インバーターとはバッテリーの12Vの電気を100Vに変換する機器の事です。

家庭で使う電化製品を外部電源が取れない場所で使いたい場合はインバーターが必要となります。

使い方については取り扱い説明書をご確認ください。

注意！

機器が動かない場合、波形が合っていない場合があります。
モデルによって「矩形波」「疑似正弦波」「正弦波」に分かれ、精密機器を使う場合は「正弦波」タイプでないとう動かない可能性があります。

◆ バッテリーチャージャー



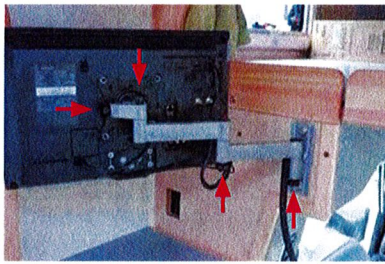
バッテリーチャージャーとは外部 100V をケーブルでつないだ際に、100V から 12V に変換しサブバッテリーに充電する装置です。
室内製品のほとんどが 12V ですので 100V 接続時には室内製品をサブバッテリーの消耗を気にせずにご利用できます。
助手席裏のピラーの中に設置されていて外からは見えません。

◆モニターアーム

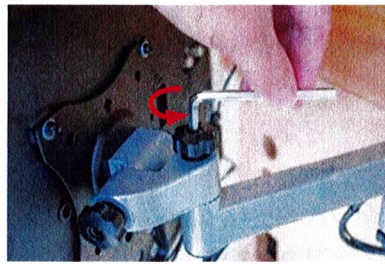


モニターアームを使うとテレビを好きな角度で固定できます。

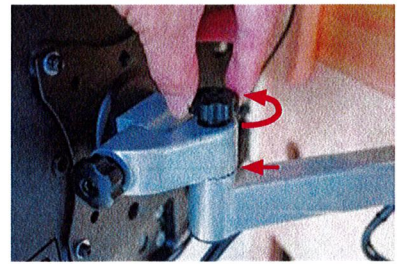
○調整方法



①アームには調整用のノブが4つ付いています。



②ノブを緩めるにはまず付属の六角レンチで緩めます。



③アームのパーツ同士はギザギザの噛み合わせで固定されています。調整する時はフリーに動く程度にノブを緩めてください。

注意！

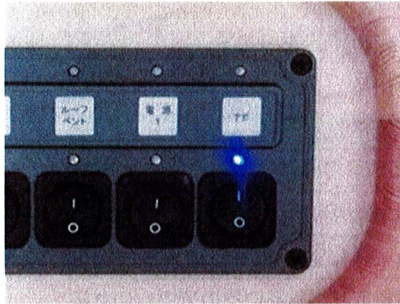
中途半端に締めていると車の振動でノブが段々緩んでくる事があります。締めるときは必ず六角レンチでしっかり締めて下さい。緩んだ状態で暫く走ってしまうとギザギザの山を舐めてしまう可能性があります。

◆ ナビサブバッテリー接続／リアモニター配線

『ナビサブバッテリー接続』とは、カーナビの電源をサブバッテリー経由で取り、車の電源を切っても使えるようにする配線を組む事を言います。

カーナビの地デジ放送やマルチメディア機能をダイネット側でも使いたいという方にオススメです。

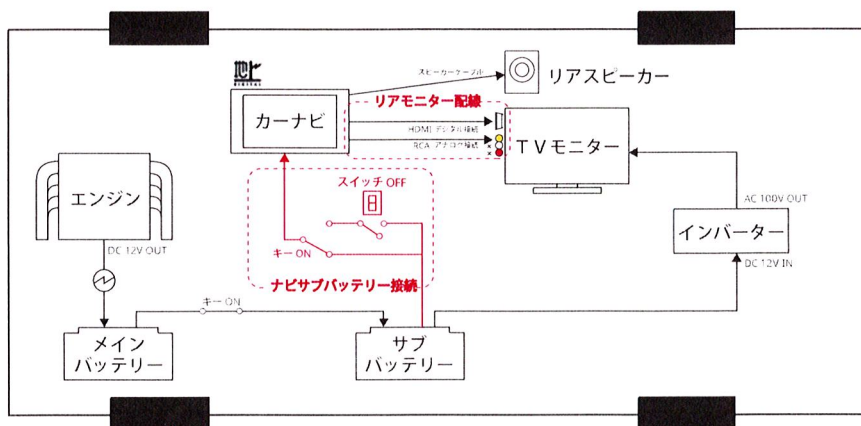
『リアモニター配線』とは、カーナビ側の出力をテレビやステレオスピーカーから流す為の配線の事を言います。



スイッチパネルの「ナビ」をONにするとナビが起動します。
テレビの電源を入れるとカーナビ側の出力映像が流れます。

【エンジンキー ON 時】

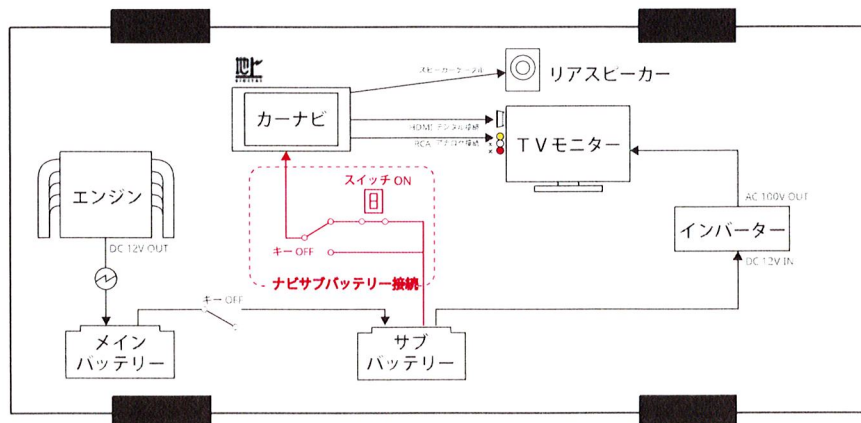
カーナビはサブバッテリー（※インバッテリー）から給電されます。



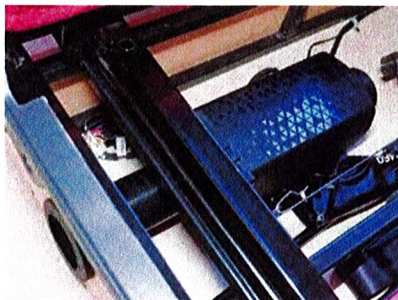
【エンジンキー OFF 時】

カーナビはサブバッテリーのみから給電されます。

エントランス上のスイッチパネルでカーナビのON、OFFをコントロールできます。



◆ FF ヒーター



エバスベヒャー製のエアヒーター「エアトロニック」を採用。
集中スイッチとは連動していません。
使用方法については付属の取扱い説明書をご覧ください。

注意！

長時間使用しないと燃料が詰まる場合があります。
一か月に一度は作動させて下さい。

ポイント

エンジンを切っても使えるので騒音の心配がない。

消費電力が少なくバッテリー上がりの心配が少ない。

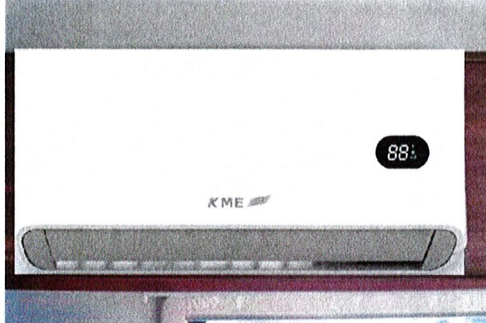
燃費が極めて良く、6時間運転で1Lの消費。

燃料は車両の燃料タンクから直接取り出しているので燃料切れになる心配も低い。

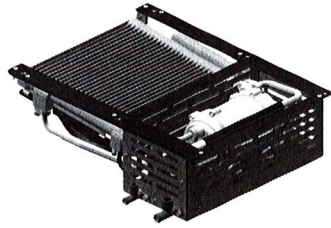
排ガスを車外に出すので空気が汚れない。

◆ 12V 専用クーラー

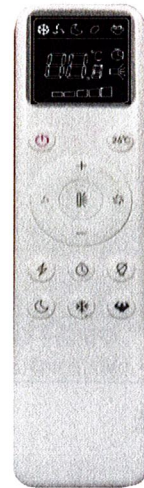
KME 製キャンピングカー用の12V 直流インバータークーラーです。
サブバッテリー又は外部電源を繋げてご使用できます。



室内機



室外機



○ 操作方法



集中スイッチパネルの冷房を ON にします。



⑨ ボタンを押すと、クーラーがオンになり、ディスプレイが点灯します。もう一度ボタンを押すと、クーラーがオフになり、ディスプレイがオフになります。

付属のリモコンでもコントロール可能です。

ポイント

電源を OFF にしてもしばらく室外機が稼働しています。
動作が停止したのを確認してスイッチパネルの冷房スイッチを OFF にして下さい。

サブバッテリーで駆動させる場合は予め車のエアコンで車内温度を
下げておくとバッテリーの使用量を抑えられます。

車を日陰、難しいならば室外機が日陰になるように向けると若干冷
房効率が良くなります。



ブレーカー

○ 外部電源を繋げた場合

外部電源を繋げた場合もバッテリーから電力は供給されて
います。手で切り替える必要はありません。

この時、サブバッテリーが出力している分だけバッテリー
チャージャーから充電され続けます。

これは過充電防止の為に『強制フロート機能』と呼ばれます。
また、気温が高い場合は電力量も多くなるのでチャージャー
のファンがうるさくなる場合もありますが故障ではございませ
ん。

※ 其他のご使用方法や不具合については付属の取扱い
説明書をご覧ください。

注意!

クーラーをしばらく使わない場合はブ
レーカを切っておく事をおすすめします。
使う時は ON にしてください。

◆ 稼働時間の目安

◇ 条件

- ・当社指定のイナダ製バッテリー1個搭載
- ・天気の良い真夏日
- ・室温設定 25°

◇ 想定稼働時間:

1時間強～1時間半程度

※条件や設定で結果は大きく異なります。

◆ ポータブル電源取り入れ口

○ ポータブルリチウムイオンバッテリー（別売り）

ポータブルリチウムイオンバッテリーを用意して車と接続する事でサブバッテリーを充電する事や社内のコンセントに給電可能となります。

電源本体の詳しいご使用方法については付属の取扱説明書をご確認下さい。



○ 接続端子、ケーブル類



接続端子類

※コンセントの場所は車種によって変わります

- ① 給電用 100V 入力コンセント
- ② 充電用 100V コンセント
- ③ 充電用 12V ソケット



ケーブル類

- ④ 外部 100V 電源用ケーブル
- ⑤ 充電用 100V ケーブル
- ⑥ 充電用 12V ケーブル

○ 給電方法



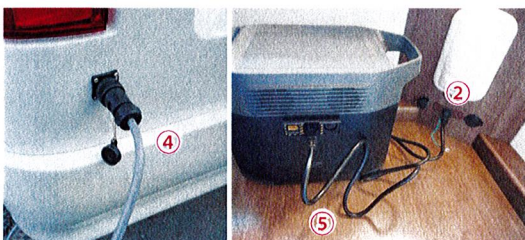
ポータブル電源から車両へ給電する場合は本体と①のコンセントに④のケーブルで接続します。

外部充電と同じ仕組みなのでサブバッテリーへの充電が自動的に始まります。コンセントへの給電のみで良い場合は充電器の電源を落として下さい。

注意！

④の外部 100V 電源用ケーブルは車に 1 本しか搭載されていませんので、外部電源から車両に供給するかポータブル電源から供給するか選ぶ形となります。仮にもう一本用意して両方繋いだとしても外部電源側が有効となります。

○ 充電方法



ポータブル電源を100V コンセントから充電する場合

- ・外部電源と車両外の外部入力用コンセントを④のケーブルで繋ぐ。
- ・本体と②のコンセントを⑤のケーブルで接続。

注意！

オプションのインバーターを設置したとしても②のコンセントには電力は供給されません。あくまで「外部電源専用」のコンセントとなります。



ポータブル電源を12V ソケットから充電する場合

- ・集中スイッチパネルの「電源 1」を ON にする。
- ・ポータブル電源と③のソケットを⑥のケーブルで接続。サブバッテリーから充電されます。充電能力は弱めです。

注意！

サブバッテリーが充電されている状況で接続してください。長時間の充電を行うとコネクタが熱くなる場合があります。その場合はコネクタを抜いて充電を停止してください。

◆トイレ

○ポータブルトイレ

持ち運び可能なコンパクトなトイレです。
ご使用方法については付属の取扱説明書をご確認下さい。

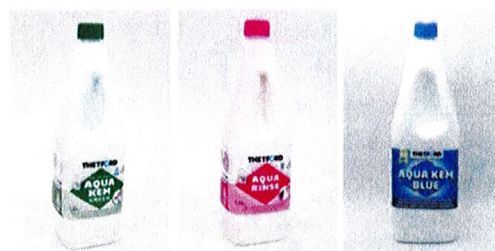


トイレ用品 (AtoZ パーツ)

トイレの消臭、芳香、洗浄剤については弊社のネットショップ【AtoZ ハーツ】にてご購入可能です。



AtoZ PARTS



セツフォード製 アクアシリーズ

■ メンテナンス

◆ 冬季の水道設備のメンテナンス

給水栓の中の水が凍結すると膨張して部品が破損する可能性があります。

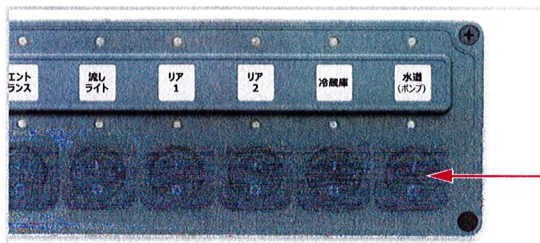
水漏れの原因に繋がるので、凍結の可能性がある場合は中に残った水を必ず抜いてください。



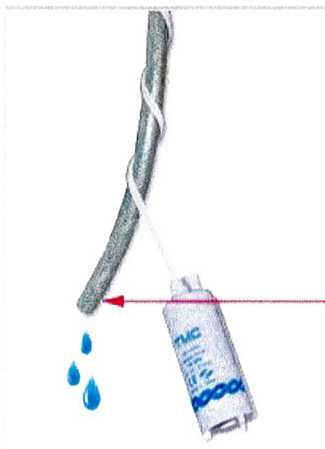
シャワーホース

ここに水が残ると破損する可能性があります。

○ 手順



①ポンプと水栓に通電させないよう水道の電源スイッチを OFF にする。



②ポンプをホースから外し中に残った水を排出させる。

③水栓レバーを開ける。



④シャワーヘッドの流水モードを「シャワー」にして中の水を出来るだけ排出させる。

⑤シャワーホースを全部引出してシャワーヘッドの穴を下に向け残っている水を排出させる。

⑥排出したら、シャワーホースとポンプを元に戻す。

※ご注意：シャワーヘッドの流水モードを「シャワー」にキープしてください。

◆洗車

状態維持の為、日常的に洗車をお勧めします。

ボディーはFRP製のため、自動車用のワックスや水垢落としなどがそのまま使えます。

長期間直射同じ位置で日光に常時さらしていると、FRPが焼けて色むらが出ますので、向きを変える、屋根やカバーをつけるなどの対策をお勧めします。

AtoZ パーツではキャンピングカーに適した洗剤類を販売しております。

ぜひこの機会にお買い求め下さい。

キャンピングカー専用洗剤 カムシリーズ



AtoZ PARTS

◆コーキング

シェルはいくつかのパネルを組み合わせで出来ています。

コーキングとはパネルの隙間に充填するゴムパッキンのようなものです。

雨水の侵入を防いだり走行時の振動を吸収したりする役目を担ってます。

しかし長く使う事で劣化がおこり、コーキングが痩せて隙間が出来たり硬化してヒビが入り始めると雨漏りの原因となります。

定期的な点検が必要ですが、AtoZ では2年ごとの車検時にコーキング処理をお勧めしています。是非お申し出下さい。



ご自身で行う場合はAtoZ パーツに弊社が使用しているコーキング剤がありますのでこれをお求め下さい。



Sikaflex-251(シーカフレックス)

■ トラブルシューティング

- ◎ 万一不具合等が発生した場合は、ご購入いただいた店舗までご連絡ください。

※ 中古車販売店、個人売買等でご購入のお客様は、ご購入された販売店又は修理工場を通してのみの対応とさせていただきます。

◆ 走行時のベース車側のトラブル

走行については、ベース車の取扱説明書のトラブルシューティングをご覧ください。
その時に担当営業マン、最寄りの販売店に連絡を入れるようにしましょう。
点検整備などで販売店を訪問した際に、出先や日祭日、深夜のトラブルについてどのように対処したらよいか、事前に聞いておくと便利です。

◆ 事故が起きた場合

人命救助、警察や救急等の最初の連絡などを最優先に行ってください。
車両については納車時に立ち会った担当営業マン及び一番近い地区の販売店に連絡をとるようにします。
名前、連絡先、現場の位置、最寄りの警察、車両の状態、走行できるか否か、登録ナンバー、車体番号、保険会社など細かい情報をお伝えください。
また、ご加入している保険会社にも上記内容を必ず連絡するようにしましょう。

◆ 破損が軽微の場合

バック中何かにぶつけてバンパーをこすった、割れたなどの軽微な事故の場合の対処方法です。
ボディーやバンパーなどはFRP製なので錆びることはありませんので、旅行から帰ってからの修理も可能です。
自損事故での保険を使う場合は、必ず現場の写真と損傷箇所の写真を撮りましょう。
日時が入る画像などがいいでしょう。
破損したかから等は出来る限り回収（拾っておく）してください。
修正の際にそれらを利用して修正を行います。

◆ 破損が中規模の場合

バンパーなど破損した部品が車体から脱落してしまった場合、必ず割れたFRP部分は拾って持ち帰ってください。
その部分を元に復元をするため、破損部分がないと形がいびつになり、元に戻らなくなる可能性があります。

◆ 照明などの電源が全て消えた場合

これはバッテリーの完全放電が考えられます。まず、電圧を確認してください。
電圧が下がっている状態でそのままエンジンをかけたり、外部コンセントをつないで充電器を作動して充電をすると、バッテリーが発熱をしたり、破損する場合があります。
確認できるバッテリー電圧が10V以下になっていませんか。
(放電の状態によってはほとんど電圧が出ない場合もあります。)

○ 対処の方法

- ①ソーラーパネルのついている車両の場合は、日中であればしばらくソーラー充電しているかどうか様子を見ます。電圧が上がってくれば、そのままエンジンをかけて走り出せます。
- ②外部電源をつないで充電器で充電をする。
この場合、完全放電した場合は充電器が反応しない場合があります。
その場合はこの説明書の最後(11)に対処方法を記載しました。
- ③バッテリー電圧が完全に下がってしまった場合
この説明書の最後に記した対処方法では十分充電が出来ない場合の対応方法です。
ソーラー発電がない場合や、バッテリーの電圧が下がりすぎて、発熱等で外部充電を受け付けられない場合などは、全てのバッテリーのターミナルを外し、個々の電圧の確認をして、個々のバッテリーを予備充電させます。

・予備充電方法

- 12V2A程度で1個あたり約半日～1日程度充電します。
 - ・充電器は各自ご用意ください。ホームセンターなどで売っている単純機能の安いタイプ十分です。
 - ・高機能タイプや全自動タイプは充電器が作動しません。
 - ・接続の際は配線の間違いやバッテリー間のショート、感電などに十分ご注意ください。
- 予備充電後再度バッテリーを車両に組み付けて終了です。その後エンジンをかける、外部コンセントをつなぐなどで通常充電を行います。
- バッテリーを完全放電させると、寿命が短くなる場合がありますので、ある程度の電圧まで下がったら逐次充電をするようにしてください。

◆ 冷蔵庫が動かない

この場合は4点考えられます。

- ①主電源の入れ忘れ
- ②バッテリー電圧の低下
- ③本体の故障
- ④庫内温度が低下したので動きが止まっている

まず、バッテリーの電圧を確認してください。
次に、庫内を空けて冷えているかどうかを確認してください。
冷えていればサーモスタットが働いて運転停止していると考えられます。
(庫内に調節ダイヤルがあります)
本体の故障が確認された場合は当社工場まで連絡をください。

◆ マックスファンが動かない

この場合は通常動作と故障が分かります。

○ 通常動作の場合、

センサーで止まっている場合があります。

温度設定で動作しているので、ある程度の温度まで来たら自動的に動き出します。

○ 故障の場合

- ・ ファンが回らない
- ・ サーモスタットが効かない
- ・ 蓋が開かない
- ・ 雨もれがする

○ 対処方法

- ・ ファン用の主電源が入っているかどうか確認する。
- ・ ファンの温度センサーの設定を確認する。
- ・ 蓋が開かない場合は、錆、ごみなどの固着、ギアの破損などが考えられます。状態をよく見てから、油をつける、掃除をするなどの対策をしましょう。
- ・ 雨漏れの場合は、コーキングの劣化、不具合、ごみが詰まっている、何らかの原因でプラスチック部分が破損しているなどが考えられます。
- ・ 屋根から状態を確認すると原因が判明する場合があります。
- ・ これらに該当しないで動かない場合は故障の可能性があります。
- ・ 一度症状を確認して、当社工場までお問い合わせください。

◆ サブバッテリーが上がった場合

サブバッテリーを使用して設備を動かしているときに、電圧が低くなってしまった場合の対処方法です。車輻に装備してある充電器やソーラーチャージコントローラーは全自動のため、バッテリー電圧が規定より低くなった場合、保護回路が働いて充電を行いません。

バッテリー電圧が10V以下になった場合、通常の充電方法では充電できない場合があります。

そのため、下記の方法でバッテリー電圧を上げる必要があります。

- ① 架装部分の全ての電源を切ります。（メインを落として、冷蔵庫、インバーター、クーラー、など全て切ります。）
- ② エンジンをかけて30分～1時間程度アイドリング状態でサブバッテリー電圧が上がるまで充電をします。電圧表示は、インバーター、ソーラーチャージャーなどの各電圧計で確認してください。アイドリングの場合、オルタネーターからそれほど大きい電流が流れないため、徐々に充電されて電圧が上がってきます。時間がたてば電圧が12V程度まで上がります。
- ③ そのままエンジンをかけておいたり、エンジンを止めて外部コンセントを挿したりしてさらに充電を行います。オプションのソーラーパネルをつけている場合は、そのまま充電が始まります。（これは自動で作動します）
- ④ サブバッテリーを十分に充電して終了です。

■ 保障

※ 詳しくは別紙の保証についての書面をご確認下さい。

■ 会社情報



株式会社エートゥゼット

HP : <http://www.atozcamp.com>

Mail : info@atozcamp.com



春日部本店

〒 344-0042 埼玉県春日部市増戸 862-3

TEL : 048-760-5668

FAX : 048-760-5669



大阪店

〒 563-0014 大阪府池田市木部町 331-12

TEL : 072-735-7718

FAX : 072-735-7719

販売店印